

令和7年度 第2回伊賀市大山田財産区管理会（概要）

日 時：令和7年11月14日（金）13:30～14:30

場 所：大山田福祉センター ふれあい広場

出席者：（管理委員）成瀬会長、川端副会長、藤森委員、林委員、中瀬委員、竹島委員

（欠席）中川委員

（管理人代表）森下管理人

（事務局）服部支所長、川極主査

（伊賀森林組合）増田氏、岩瀬氏

事務局	大山田支所の川極です。よろしくお願いいたします。ただいまから令和7年度第2回伊賀市大山田財産区管理会を開会させていただきます。管理委員の皆様、管理人代表様には大変お忙しいところご出席下さいましてありがとうございます。事項書に基づき、進めさせていただきます。会議次第2. 会長より挨拶をお願いします。
会長	公私何かとお忙しいなか、第2回の大山田財産区管理会に出席いただき、ありがとうございます。今年の夏は格段に暑かったのですが、先月下旬から急に秋の深まりを感じるようになりました。インフルエンザの患者数も増えてきています。皆さまにおかれても体調の管理には十分気をつけてください。また、10月12日に年間計画で予定の布引林班境界確認およびリンロンテープ巻き作業を行なっていたが、その際に境界杭の位置誤りに気付かれ、10月20日に森下管理人代表をはじめ、伊賀森林組合さんも同行していただき、再測量を実施していただきました。続いて今月8日には再び作業を実施していただきました。出役していただいた管理人の皆さまにお礼申し上げます。ありがとうございました。
事務局	有難うございました。続きまして会議次第3. 支所長より挨拶を申し上げます。
支所長	大山田支所の服部です。平素は支所業務に対しまして、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。会長様はじめ、委員、管理人の皆様には日頃より大山田財産区の管理、事業運営に大変お世話になっており感謝申し上げます。この後の事項につきましては、速やかな進行についてご協力をお願い致します。
事務局	それでは議事に入らせていただきますが、議事の進行につきましては伊賀市大山田財産区管理会条例の規定により、会長にお願いさせていただきます。また、同条例により、議事は出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは会長に決するところによる、とありますのでご承知下さい。更に、伊賀市自治基本条例等の規定により、本会は公開とさせていただきます。議事録を作成し、市のホームページに掲載して公開するため、議事内容を録音させていただきますのでご了解下さい。また、資料を確認させていただきますので、不足がありましたらお申し出下さい。お揃いでしたら、会長よりお願いいたします。
会長	これより議事を進行したいと思います。はじめに、7名の委員のうち本日6名が出席いただいておりますので、会議は成立いたします。それでは、会議次第4. 会議録署名委員の指名について、議題とさせていただきます。会議録に署名いただくお二人を私から指名させて頂いてよろしいですか。
委員	（異議なしの声）

会長	今回の会議録の署名につきましては、竹島委員と藤森委員にお願いします。後日、議事録を確認して署名をいただきたいと思います。それでは、会議次第5. の協議事項に入りますが、伊賀森林組合さんが報告のため、お越しいただいております。よって先に事項5. (2) を際に報告していただきます。伊賀森林組合さん、よろしくお願いします。
伊賀森林組合	伊賀森林組合の増田と岩瀬です。よろしくお願いします。資料No.2「伊賀市大山田財産区有林 令和7年度事業進捗状況報告」をご覧ください。今年度は西教林班にて森林整備事業を実施となっており、作業に向けた準備工として、作業道上の落石などの除去は済ませております。事業内容は西教林班直営林 18.78ha のうち、切捨間伐で 11.05ha を予定しており、本数間伐率は 30%となっています。この事業は大山田財産区直営事業として、8月27日に施業委託契約を締結しており、履行期限の令和8年1月30日までに作業を終えることとしております。また、別の資料をご覧ください。先ほど会長様の挨拶でもございましたが、10月12日に大山田財産区管理人様の作業で布引林班境界確認を実施された際、平成29年に実施した大山田財産区有林境界明確化事業で確定した境界線の一部に誤りがあるとのこと指摘を頂戴し、10月20日に森下管理人代表とともに立会をしたところ、杭が誤った所に敷設されていたのを確認しましたので、再測量を行ない、資料のとおり作成しましたのでお示しさせていただきます。これにより、大山田財産区有林の総面積が約0.8ha 広がったことをご報告致します。
会長	伊賀森林組合さんにご説明頂きましたが、ご質問やご意見等ありませんか。
委員	(異議なしの声)
会長	特にないようですので、会議次第5 (2) につきましてはお認めいただいたということでよろしいですか。
委員	(異議なしの声)
会長	伊賀森林組合さん、ありがとうございました。伊賀森林組合さんはここでご退席されます。
	(伊賀森林組合退席)
会長	次に会議次第5 (1)、令和7年度大山田財産区会計補正予算要求(案)ならびに、令和8年度大山田財産区特別会計予算要求(案)について、一括して事務局の説明を求めます。
事務局	令和7年度大山田財産区会計補正予算要求(案)について、ご説明させていただきます。資料をご覧ください。 まず、総務費- 総務管理費- 一般管理経費より節 24、細節 37 の大山田財産区基金積立金につきまして、当初予算額 591 万円を 59 万 3,000 円増額し、補正後予算額を 650 万 3,000 円とするものです。内容は、財産管理経費補正及び歳入補正に伴う調整となります。通常、その年度の予算の翌年度繰越額は年度末まで確定しませんので、翌年度予算では仮の繰越額で計上し、翌年度末の最終補正で未執行の額を減額補正する際、前年度からの繰越額を実際の繰越額に合わせて増額する補正を行なっています。しかし今回、別の理由で 12 月補正を挙げる機会が生じたことから、通常は年度末に行なっている基金積み立て額の増額を今回の補正で行なうものです。

次に、財産費- 財産管理費- 財産管理経費が今回補正が必要となった理由となり、公用車カーナビゲーション機器のNHK受信料未払い分となります。経緯につきましては、9月に市から市議会にも報告されていますが、全国の自治体において、公用車に設置のカーナビでテレビも視聴できる機能のついているものがNHKとの放送受信契約が未契約となっている事案が報じられたことを受け、調査した結果、伊賀市でも一部が未契約となっているものを確認したものです。未契約台数はカーナビ35台テレビ1台で、未契約の期間は最長で約16年間となっています。未契約期間分の受信料未払いは最大で約460万円ですが、現在、市でNHKと協議中であり、金額が確定次第、支払い手続きを進めることとなります。テレビ視聴の必要性を精査し、不要なものは受信設備を撤去する対応をとります。この未契約の車両のなかに、大山田財産区の公用車1台が含まれていて、受信料の遡った支払いに必要な予算計上する必要が生じました。財産管理経費- 使用料及び賃借料- テレビ受信料がそれにあたり、補正前は0円でしたが今回補正で18万3,000円を計上するものです。この額は、車両登録の平成25年9月から今年度までの受信料の累計額となっています。

最後に、歳入のうち繰越金について、当初予算額は20万円でしたが、これを77万6,955円増額し、補正後の予算額を97万6,955円とするものです。これは、先ほど説明させていただいた前年度の繰越金の実際の額が97万6,955円でしたので、その差額を増額するものです。歳入全体と歳出全体は同額となり、歳入の増は77万6,955円で、歳出はNHK受信料の増額分が18万3,000円ですので、差し引き59万3,000円を基金積み立て額の増額とし、千円止めで歳出・歳入ともそれぞれ補正額の合計が77万6,000円となります。

なお、本補正につきましては、本日の管理会で委員の皆様のご承諾をいただけた後、この12月の市議会で補正予算案として審議され、議決をもって成立となります。

事務局

続きまして、令和8年度 大山田財産区特別会計予算要求(案)について、ご説明させていただきます。資料1をご覧ください。1ページの歳入から、第1款 財産収入 第1項 財産運用収入 第1目 財産貸付収入は、7年度当初予算額1千238万6,000円に対し、8年度要求額も同額の1千238万6,000円となっています。内訳は、(株)青山高原ウインドファームなどへの土地貸付料です。第2目 利子及び配当金は、7年度当初予算額38万6,000円に対し、8年度要求額は45万9,000円で7万3,000円の増額です。内訳は財産区基金利子で、財産区基金の地方債運用に係る利子、大口定期預金利子による増額です。第2款 繰越金は、7年度当初予算額20万円に対し、8年度要求額も同額としております。歳入合計は、7年度の要求項目との比較になりますが、7年度当初予算額1千297万2,000円に対し、8年度要求額は7万3,000円増額の1千304万5,000円としております。

続いて、歳出に移らせていただきます。2ページをご覧ください。第1款 総務費 第1項 総務管理費 第1目 一般管理費は、7年度当初予算額787万4,000円に対し、8年度要求額は559万6,000円で227万8,000円の減額です。要求額の主なものですが、管理会委員報酬23万円、大山田財産区林道事業補助金105万円となっています。

	<p>続いて3ページをご覧ください。第2款 財産費 第1項 財産管理費 第1目 財産管理費は、7年度当初予算額 65万 4,000円に対し、8年度要求額は 287万 8,000円で 222万 4,000円の増額です。要求額の主なものは、管理人見回り等報償費が 25万 8,000円、火災保険料が 11万 2,000円、林業作業材料費9万円などとなっています。なお、布引の森進入路修繕工事に 207万 9,000円を要求しているため、大幅に増額となっています。次に、第2項 財産造成費は、7年度当初予算額 422万 9,000円に対し、8年度要求額は 435万 6,000円で 12万 7,000円の増額となっています。要求額の主なものは、管理人作業報償費 60万 1,000円その他、財産区有林長期森林整備計画に基づき、令和8年度は高良城林班の間伐を予定しており、それに伴う財産区森林整備業務委託料 328万 7,000円を予算計上しております。</p> <p>最後に4ページをご覧ください。第3款 公債費 と 第4款 予備費につきましては、7年度当初予算額と同額としております。歳出合計は、7年度の要求項目との比較で、7年度当初予算額 1千 297万 2,000円に対し、8年度要求額を 1千 304万 5,000円としております。</p> <p>以上で説明とさせていただきます。よろしく申し上げます。</p>
会長	ありがとうございます。何かご質疑はありますか。
委員	大山田財産区の公用車のカーナビのテレビは今どうなっているのか。
事務局	既にアンテナを外してあり、テレビの視聴を不能としてあります。
委員	するとこの予算は今回だけのものか。
事務局	その通りです。
委員	管理歩道の維持管理等に 63人と記載されているが、その内訳は。
事務局	大山田財産区管理人9人が境界確認作業やリンロンテープ巻き、支障木・危険木の伐採等に出役していただいた際の報償費であり、管理人年間計画に基づき出役する最大のべ人数で計上しています。
委員	工事請負費の布引の森進入路はどの辺りに位置するのか。また現在はどのような状況となっているのか。
事務局	(布引林班展開図を指し) 大山田財産区有林 布引の森に入って少し進んで右に曲がると急な下り坂があり、その坂の一番底の部分となります。道の底に水抜き管がありますが、長年の風雪や雨で、水抜き管を通らず雨水が別の箇所から抜け続けたと思われる結果、土台の土砂がほとんど洗い流され、コンクリート製の路面が宙に浮いている状態となっています。
委員	災害復旧等で対応はできないのか。
事務局	これは3年ほど前に当時の奥馬野区長が現場に出向いた際発見し、市に対応を求めた経緯があります。災害復旧での対応を関係部署に申し入れましたが、本当に台風等の災害によるものか不明であり、優先順位等から対応してもらえなかったものです。大山田財産区有林内でありこれ以上今の状態にしておけない判断から、今回予算要求するものです。なお、現場については馬岡前会長にも大山田財産区有林内であることを確認いただいています。
会長	他にご質疑ありませんか。ないようでしたら、会議次第5(1)の令和7年度大山田財産区会計補正予算要求(案)並びに令和8年度大山田財産区特別会計予算

	要求(案)について、お認めいただいたということによろしいですか。
委員	(異議なしの声)
会長	ありがとうございます。協議事項については以上です。その他で何かありますか。
管理人代表	布引林班境界の再測量について、2日間かけて林班を廻ったが、何か所か境界杭が見当たらないところがあった。区有林の看板を設置したほうがいいと思えるところも20箇所ほどあった。また、風車の付近も地図に位置関係を明確にしておいた方がよいと思う部分があった。
事務局	ただいまの件は森下管理人代表から活動報告書として提出をいただいています。看板については、2月の境界明示看板等設置作業の際、保管していたものだけでは足りず急ぎ購入したものと合わせて19本を使用し、現在在庫がありません。今年度予算の進捗状況を見ながら購入を考えています。また、風車の付近ですが、青山高原ウインドファームより、布引林班内に設置されている発電用風車や、その作業道などが記された地図を預かりました。事務局で所持している林班展開図と照合して地図に落としこむことも検討しています。
会長	他に何かありませんか。無いようですので、第2回管理会の議事を終了させていただきます。事務局にお返しします。
事務局	会長には議事進行有難うございました。委員の皆様には色々ご協議をいただきまして有難うございました。次回の第3回管理会は2月を予定しています。皆様方におかれましては、今後も大山田財産区にご理解・ご協力をお願いいたしまして、令和7年度第2回伊賀市大山田財産区管理会を閉会とさせていただきます。ありがとうございました。
	(了)

会議録署名者

大山田財産区管理会 会長 成瀬 義之

大山田財産区管理会 委員 竹島 保成

大山田財産区管理会 委員 藤 珠 哲